平成２９年度学校評価について

兵庫県立尼崎西高等学校

１　自己評価について

学校評価の重点に基づいて作成した評価項目について、本校教職員による自己評価を行い、次の用に換算を行って数値化した。

［Ａ］達成できた（４点）　［Ｂ］概ね達成できた（３点）　［Ｃ］あまり達成できなかった（２点）
［Ｄ］達成できなかった（１点）

本校教職員４７名が回答し、全回答の平均は 3.08 であった。なお、表の右側に 3.2 以上は◎、3.0～3.2 に○、2,8 以下には△の印を付けて評価した。

Ａ　日々の授業の充実		**3.06**	○
重点課題	①授業研究の推進	3.01	○
	②生徒の意欲を高める方法の研究	3.11	○
Ｂ　生徒への励ましと理解		3.12	○
重点課題	①さまざまな場面での自己有用感、自尊心を高める	3.13	○
	②多様な生徒に丁寧に対応する技術の研究と実践	3.02	○
Ｃ　教員の資質向上と「いきがいの創造」		3.13	○
重点課題	①信頼される存在から尊敬される存在へ	3.10	○
	②良質な職員室文化を創造する	3.34	◎
	③個業から協働へ	2.90	○
Ｄ　研究課題		3.03	◎
重点課題	①学力向上の取組と特色化	2.88	○
	②心のサポート事業を通した生徒理解を深める方法	3.23	◎
	③２０年後まできれいな学校を残す	2.90	○

２　学校関係者評価について

地域の方々、保護者等で構成される学校評議員会において上記の自己評価を提示して説明を行い、ご意見をいただいた。

（１）将来、ＡＩの役割が増えることで、人間が人間であることがさらに求められる。学校では人間をしっかり育てて欲しい。

（２）知識を教えるだけでなく、考える力を身につけるために、指導内容に計画を持たせるなど、さらなる工夫が必要ではないか。

（３）授業見学の際にも授業における課題や、生徒に身につけさせたい事柄を先生がしっかり考えているのかと感じた。日々の授業が何より大切である。

（４）地域の教育力が低下しているのも事実なので、高校入学後にも中学の学習内容の復

習を組み込んで欲しい。

（５）偏差値だけが学校を判断する尺度ではないので、社会の基本的な常識を身につけさせて、丁寧な指導を心がけて欲しいが、先生方の就労時間が危惧される。

（６）社会における常識などをもっと学ぶ機会が必要ではないか。地域におけるボランティア活動などに参加する生徒がもっと増えて欲しい。

（７）校舎の清掃をしっかり行って、きれいな校舎を維持して欲しい。